

# 令和3年度 関西医療学園校友会 監査報告 議事録

I. 日時：令和4年4月25日（月）18時30分～21時00分

II. 場所：関西医療学園専門学校 校友会事務所

III. 出席者：明比 大，大出 祐二（監事），加納豊子（監事），西守 隆（書記）

欠席者：一谷勇一郎

オブザーバー：藤井（事務局員）

## IV. 議題

(1) 令和3年度 関西医療学園校友会 決算報告の監査

(2) その他

## V. 議題討論

(1) 令和3年度 関西医療学園校友会 決算報告の監査

令和3年度 関西医療学園校友会 残高試算表（当会外部財務管理事務所 トリプルグッド作成資料）および実績報告書，およびクラウドバンキングによる資産を確認し，適正に財務処理されていることが確認された。

### <監事による指摘事項>

ア. 令和3年度残高試算表と実績報告書との不適合について その1

令和3年度の新校友会会費として貸方金額（収入）に記載されている。入会者の一人の入学辞退したため校友会会費50,000円の返金をし，借方金額（支出）について記載している。しかし実績報告書においては，その差分額のみ記載されているため，正確に資金の流れがわかるように収入額と支出額を正しく記載すべきである。

イ. 令和3年度残高試算表と実績報告書との不適合について その2

校友会の収入として，横領事件の被疑者による返金を返金額，横領事件による学園および校友会からの金額を補填金として記載しているが，実績報告書ではその他の収入額としてまとめて記載されている。また校友会の補填金について実績報告書において，その差額分のみ記載されているため，正確な資金の流れがわかるように，収入額と支出額を正しく記載すべきである。

ウ. 令和3年度残高試算表と実績報告書との不適合について その3

横領事件による校友会本部の補填金として毎月4万円を支出している。これは横領事件発覚直後に校友会資金のうち補填金総額の700万円から切り崩している，それらの資金の流れがわかるような帳簿上の工夫が必要と考える。

エ. 部会による決算報告について

校友会から部会には、部会分担金（分配金）として、①組織活動費、②研修会費として支出している。専門/理学の決算報告書の収入額には①組織活動費、②研修会費を合わせて16万と記載されているが、校友会本部の残高試算表にある部会分担金には13万と記載されているため、帳簿上には不一致が生じる。そのため各部会から提出されている決算報告書を、①組織活動費、②研修会費を、別々に提出することを推奨する。

オ. 部会分担金について

部会分担金の組織活動費として1部会 総額30万円と理事会で決議されている。校友会本部の残高試算表の借方金額において、大学/理学には30万円以上の支出となっている。帳簿において大学/理学の組織活動費の大半は、オンライン会議費による交通費であり、部会活動の実績に相応する交通費（会議費）を計上すべきである。

(2) その他

令和4年度より関西医療学園校友会は、関西医療学園専門学校校友会と関西医療大学校友会に分会されることにおける資産分割額の経緯を説明し、監事による承認が得られた。

以上